

Scout Voice ISHIKAWA

スカウトボイス石川

Vol.21

発行：ボーイスカウト石川県連盟
石川県金沢市平和町 1-3-1
石川県平和町庁舎内
発行責任者：野田 政弘
編集責任者：中出 一
令和 7年 1月25日発行

新年明けましておめでとうございます！ ボーイスカウト石川県連盟
理事長 野田 政弘



今年の新年は、加盟員の皆様にはおかれましては、落ち着いた中での、元日をお過ごしのことと思います。

と言うのも、昨年元日は祝うどころか、能登半島地震が発生し、祝いの日から恐怖の日であったと思います。

それぞれが非日常時に会ってこそ、こうして日常が安穏の日々として生活出来ることが、どれほど尊いかを改めて知ったのではないのでしょうか。

今年は60年に一度巡ってくる特別な年、「乙巳（きのとみ）」の年です。この「乙巳（きのとみ）」の年は、新しい挑戦や大きな転換を迎えるのに最適な時期と言われています。「乙」の「木」のエネルギーは、文字通り草木が芽吹き、成長していく様子を表し、新しいことへの挑戦を力強く後押ししてくれます。そこに「巳」の「火」のエネルギーが加わることで、その勢いはさらに増し、物事は拡大・発展していくでしょう。

また、へびは脱皮を繰り返して大きくなる生き物だから、その様子から、「再生」や「進化」を象徴する存在としてとらえられています。

昨年は、県連盟は75周年の節目を迎えましたが、県連盟挙げて被災地の復興を支援する為に祝い事は控えました。

今年も復興ボランティアは継続されていくと思いますが、「乙巳（きのとみ）」の謂れの如く、本来のスカウト活動に、復興ボランティアで得た貴重な体験を基に、「新たな挑戦」から県連盟が大きく転換し、さらなる成長が成されることを期待するものです。

繰り返しますが、その為にも、ベーデンパウエル卿がスカウティングに望む「組織でなく運動」の原点を忘れずに、各団におかれましては「団が単位」から大局を俯瞰して、何を為すべきかを見定め、互いが協力し合い、温かみのあるスカウティングを展開してこそ、県内での運動が拡大・発展するものと信ずるものです。

「食マルシェ&三世代ふれあいのつどい」を開催



令和6年9月15日、珠洲市飯田わくわく広場に於いて、食マルシェ&三世代ふれあいのつどいは豪雨の中でしたが、大勢の市民の方のお越しを戴きました。

泉谷満寿裕珠洲市長（副連盟長）の開会のご挨拶が有り、ポン菓子の轟音で食マルシェが始まりました。

珠洲第1団・金沢第2団・金沢第11団・金沢第17団・金沢第21団・野々市第1団・川北第1団・加賀第3団各団がお店を開き、各団自慢の名物料理の振る舞いを行いました。

また、紙芝居やバルーンアートなどの楽しいパフォーマンスも行われました。

数十分で金沢第11団提供のローストビーフ、加賀3団の柿の葉寿司も完売でした。それぞれの屋台も予定の時間よりも早くに完売し、時間を早めたが為に、頂けない方も出たようです。

豪雨の中でしたが、大盛況のうちに終わることが出来ました。

なお、当日は秋篠宮妃紀子さまがおみ足をお運ばれ、親しく市民の皆様方と接しられ、また、参加された屋台の団を一店舗々をお周りになり、加盟員の指導者、スカウト、保護者の皆さんとも、気軽にお話をされ、その後、お一人々にキャンディ、クッキーを手渡され、お言葉を交わされました。



秋篠宮妃紀子さまのご訪問



泉谷珠洲市長（副連盟長）のあいさつ





秋篠宮妃紀子さまは、御自らエプロンをお召しになられ、餅つきにも気軽にお手伝いを戴きました。

野田理事長から、お餅に餡を詰める手ほどきを受けられ、それがまた綺麗な丸餅に仕上がりに、市民の皆様方は紀子さまの丸められたお餅を是非に戴きたいと、長蛇の列で紀子さまも笑顔で、お一人々に心を込められておられました。

今回のご訪問は、紀子さまと親しくされている山崎亜子氏（元ガールスカウト）が日本連盟に打診をされ、実現したものです。特に紀子さまにおかれましては、東日本大震災の折りにも、ボーイスカウトのボランティア活動を視察され、また、熊本地震の折りにもご視察をされておられます。





紀子さまは、会場に約2時間半の長時間、ご滞在され、退場前には、ご自身がパッチワークで手作りされたお花を賜りました。

名残は尽きませんでした、大勢の方々の見送りに、お手振りでお応えいただき、珠洲を後にされました。



**秋篠宮妃紀子さまを御案内されました
山崎亜子氏よりの御礼のメール**

「昨日は、大変お世話になりました。石川県のスカウトの皆様と、一緒させていただきました「食のマルシェ&三世_代ふれあいのつどい」は、大変和気藹々とした素敵な空間でした。このようなイベントを企画運営して下さった皆様のご尽力には頭が下がります。妃殿下も帰路の車中で、イベントでお会いした方々や、お餅の餡子の詰めかたなど、尽きない思い出話をしておりました。これからも被災者支援は長く続きます。もし、また私どもで出来る何かございましたらぜひ！お声がけいただければと思います。取り急ぎ、御礼のみ」

ビーバー・カブのつどい

令和6年11月10日（日） 奥卯辰山健民公園でビーバー・カブの集いが開催され、当日は、お天気にも恵まれ青空の下、秋の公園内を歩きまわり全部で6つのポイントを回るラリーに挑戦しました。

ポイント1 水の濾過装置を作るコーナーでは、何種類もある材料の中から1つ選び、濾過装置を作りました。泥水を入れて下から出てくる水を観察しました。

スカウトの感想「泥水がきれいになって出てきました。上手くってよかったです。」



ポイント1 濾過装置作り

今年は、スカウト・指導者・保護者を合わせ、180名が参加しました。

テーマは、「自分たちでできる防災」で、ラリーを通して、地震、津波、大雨、洪水、台風、火災などの災害にそなえ、自分にできるいろいろな防災を楽しく学ぶ内容です。



ポイント2 身を守れくぐって被って消防隊



ポイント2 消火訓練





ポイント5 防災クイズに挑戦



ポイント3 防災キムス



ポイント6 SOS!!メーデー!!

ポイント4 段ポールのイレを作ってみよう



ポイント5 防災クイズに挑戦

閉会式では、蕨原
県コミッショナー
から「皆さんが今日
手をうごかし考えた
体験は、皆さんの糧
となりました。今後
地震などの災害があ

った時に、自分たちの命を守ることになるで
しょう」と講評がありました。

晴天のもと楽しく学びながら、交流を深め
ることができた1日となりました。

セーフ・フロム・ハーム研修会

令和6年8月25日（日）金沢市教育プラザ富樫にて、セーフ・フロム・ハーム研修会が開催されました。

講師のリスク・危機管理委員のもと、参加した9名の隊指導者たちが、セーフ・フロム・ハームの周知徹底について研修し、大切なスカウトを守ることの重要性について理解を深めました。



組織活性化戦略セミナー

令和6年11月17日（日）川北町文化センターにおいて組織活性化戦略セミナーが開催されました。

新規会員獲得のための具体的な施策、保護者とのコミュニケーションから得られることなどをワークショップを通して研修しました。

講師に、日本連盟組織拡充委員の杉尾由香里氏を迎え、「～スカウト2名→スカウト18名への増員事例～さいたま市西区活性化プロジェクト」の内容で講義がありました。



さいたま市西区を再生していったプロセスを話されました。指導者として戦略を持って地域の人々と関わり、スカウトを徐々に増やしていった実践報告を聞きました。

後半のグループワークでは、「解決策の検討と共有 私たちができること」について具体的に話し合いを行いました。

各グループでは、スカウトを増やすための段階ごとの取り組み方法についてワークシートを埋める形で話し合いが行われ、最後にグループごとの発表で締めくくりました。



『スカウトボイス石川』原稿募集中！！

スカウトボイスは、石川県連盟所属のスカウトの声を幅広くお届けする情報誌です。皆様からの、感動した、楽しかった、苦しかった、友情の輪が広がった、等々のエピソードを募集しています。

あわせて、面白い写真もお寄せください。皆様からの投稿をお待ちしております。下記のメールアドレスへ「スカウトボイス石川 投稿」のタイトルでお送りください。

Mail:jimukyoku@scout-ishikawa.jp

会員増強委員会からのお知らせ

親子で仲間を勧誘する親子顕彰「なかまがいっぱい大作戦」の取り組みを今年も継続して行なっています。保護者の皆様とスカウトの積極的なご協力をお願いいたします。



ボーイスカウト石川県連盟

なかまが いっぱい 大作戦!!



お友達



勧誘★加盟



一人が一人を誘う運動を展開しています（会員拡充親子顕彰）

- ① 1名以上を勧誘し加盟
★ 褒状および友情バッジ（銅）と記念品（1000円程度）
- ② 3名以上を勧誘し加盟
☆ 褒状および友情バッジ（銀）と記念品（2500円程度）
- ③ 5名以上を勧誘し加盟
★ 褒状および友情バッジ（金）と記念品（5000円程度）

詳細は、各団担当者にお問い合わせください。
申請は、各団より石川県連盟におこないます。